



公共施設の



“あさって”

これまでの延長線ではなく  
1.5歩先の未来で活躍する施設って？



## 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- 新駅の設置について
- 新庁舎の整備について



R4年 市議会12月

## 鎌倉市役所移転に関する条例※を提案

賛成 16 反対 10で、出席議員2/3に足らず否決

市民への情報共有が  
不足している

移転に向けた  
動きがわかりにくい

事業の必要性や背景、意志決定プロセスにたいする意見・指摘をうける

※「鎌倉市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例」のこと

### 広報かまくら2月号1面

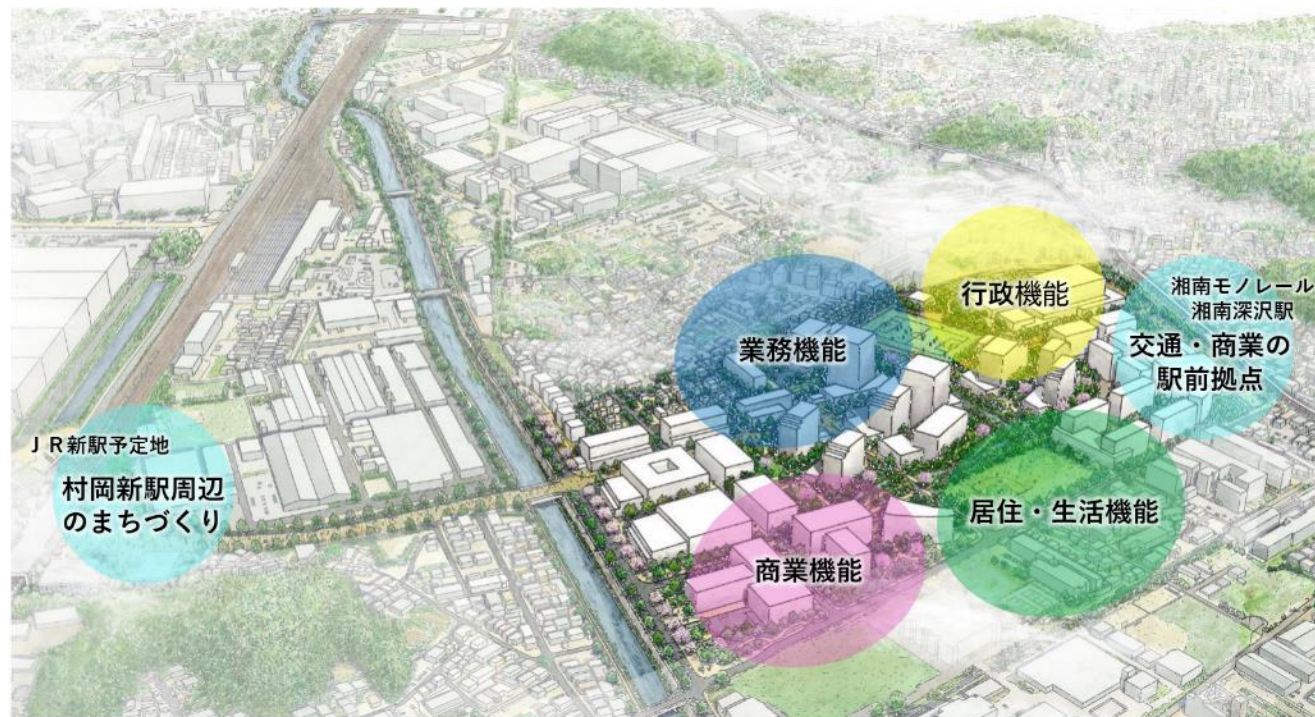
条例否決についてや、議会でもうけた指摘・意見にたいするアクション方針を掲出。





## 深沢のまちづくり

### 深沢地区のまちづくりは、どのような事業か



深沢地区のまちづくりは、土地区画整理事業によって  
道路などのまちの土台を整備  
ここに、まちのコンセプトに沿った建物や空間などができ  
世界に誇る新しいまちをつくります。



## なぜ 深沢のまちづくりを行うのか

昭和62年 深沢地区に約8.1 ha の国鉄清算事業団用地が誕生 ⇒ 深沢に大規模な未利用地が誕生

未利用地の活用、複合的な都市機能の受け皿となる拠点をつくる

鎌倉と大船に次ぐ、

第3の都市拠点を形成することで、

- ・ 人口減少、少子高齢化
- ・ 社会インフラ、公共施設の老朽化
- ・ 市の財政基盤の強化

等の様々な課題に対応します。





## 深沢のまちづくり

# まちづくりのコンセプト

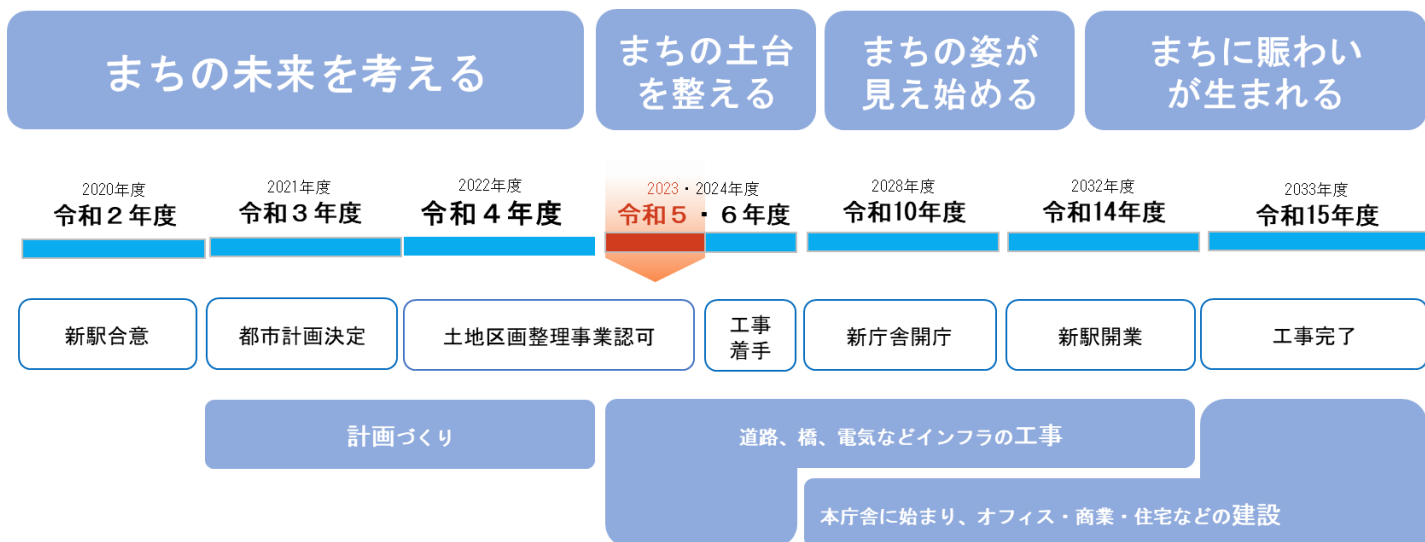
グリーン × イノベーション  
**GREEN × INNOVATION 深沢**  
～地球の未来を守るための鎌倉深沢の新たな挑戦～



この地区で生み出すイノベーションが市内全域に少しずつ広がり  
日本、そして世界の課題解決につながる  
エネルギーを持ったまちを目指します



# スケジュール



※スケジュールは2023年2月時点の想定で、変更となる場合があります。



## 2. 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- **新駅の設置について**
- 新庁舎の整備について





## 新駅に設置について



### (1) 事業の概要

東海道本線大船駅・藤沢駅間の新駅整備及び自由通路整備

### (2) 新駅整備の費用負担の割合

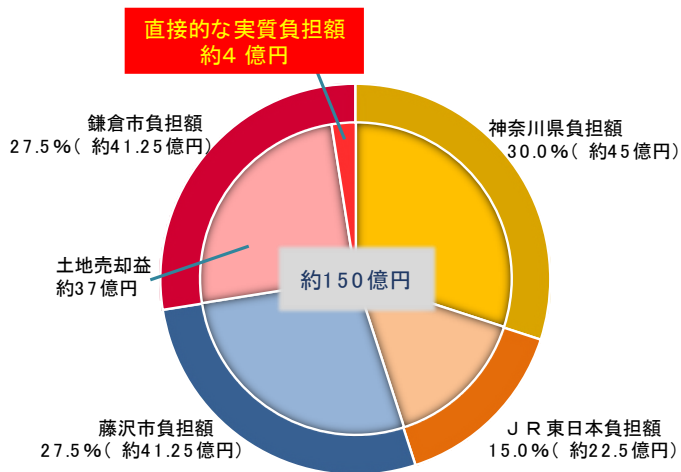
神奈川県負担額 : 30.0%

藤沢市の負担 : 27.5%

鎌倉市の負担 : 27.5%

J R東日本の負担 : 15.0%

※自由通路整備は藤沢市事業



### (3) スケジュール

令和4、5年(2022、2023年) : 詳細設計

令和6年(2024年) ~ : 工事着手

令和14年(2032年) ~ : 開業(見込み)

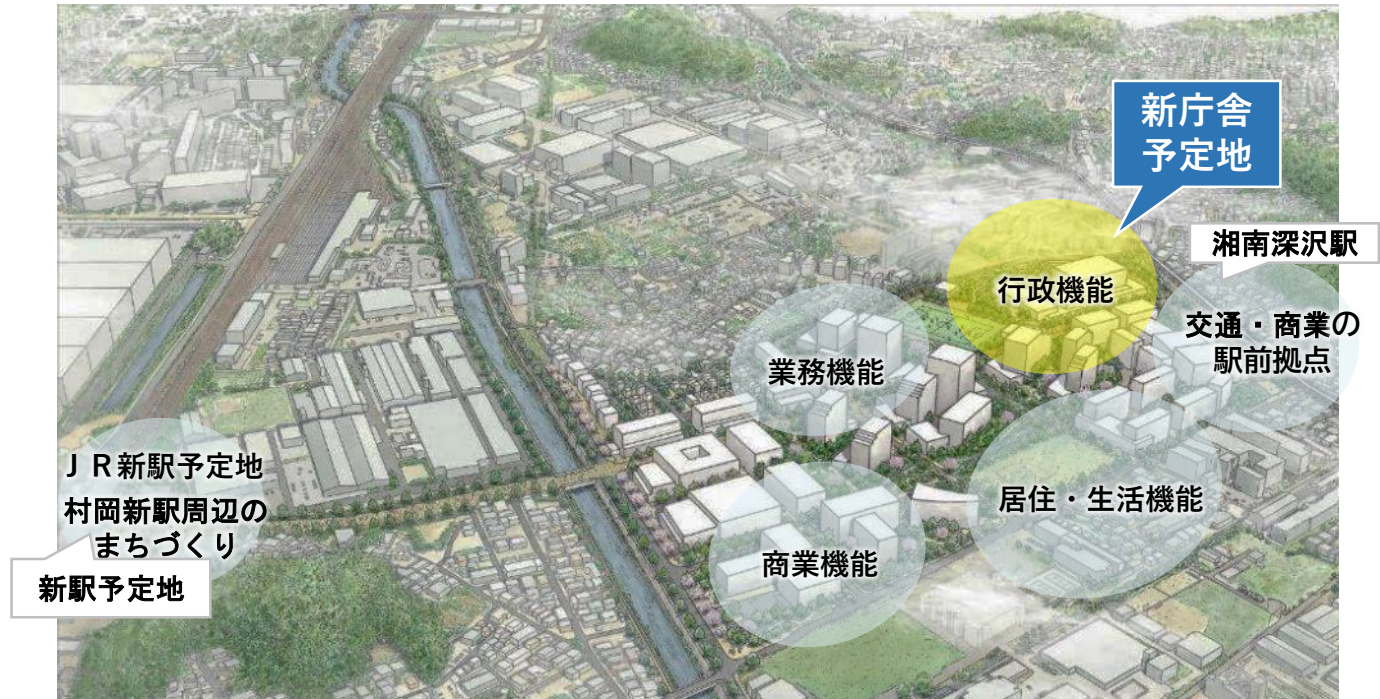


## 2. 各事業の説明

- 深沢のまちづくり
- 新駅の設置について
- **新庁舎の整備について**



## 新庁舎の整備について



出典：鎌倉市深沢地区まちづくりガイドライン  
※上記はイメージ図であり、建物等の具体的な計画を示すものではありません。

## 新庁舎とは

深沢地区のまちの行政機能エリア（北東）内に  
市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を  
複合した施設の整備を計画しています



## 新庁舎の整備について

# 新庁舎のコンセプト まもる・やさしい・つながる

### 今の課題

- 現庁舎は耐震性不足
- 災害時支援を受けるスペース不足
- 来庁が前提のづくり
- やさしくない建築構造
- プライバシー確保難
- 居場所となるスペース不足
- 市民の交流を促す場不足

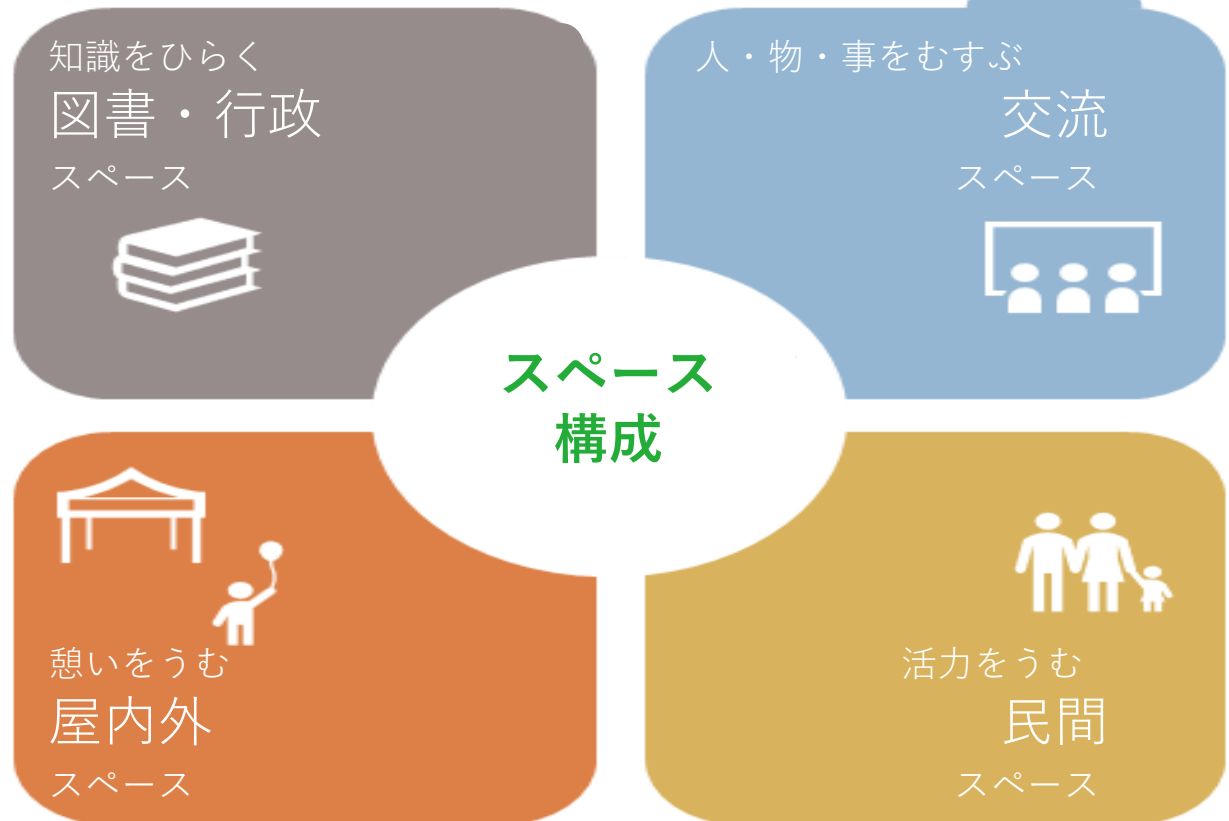




## 市庁舎現在地利活用基本理念（ビジョン）

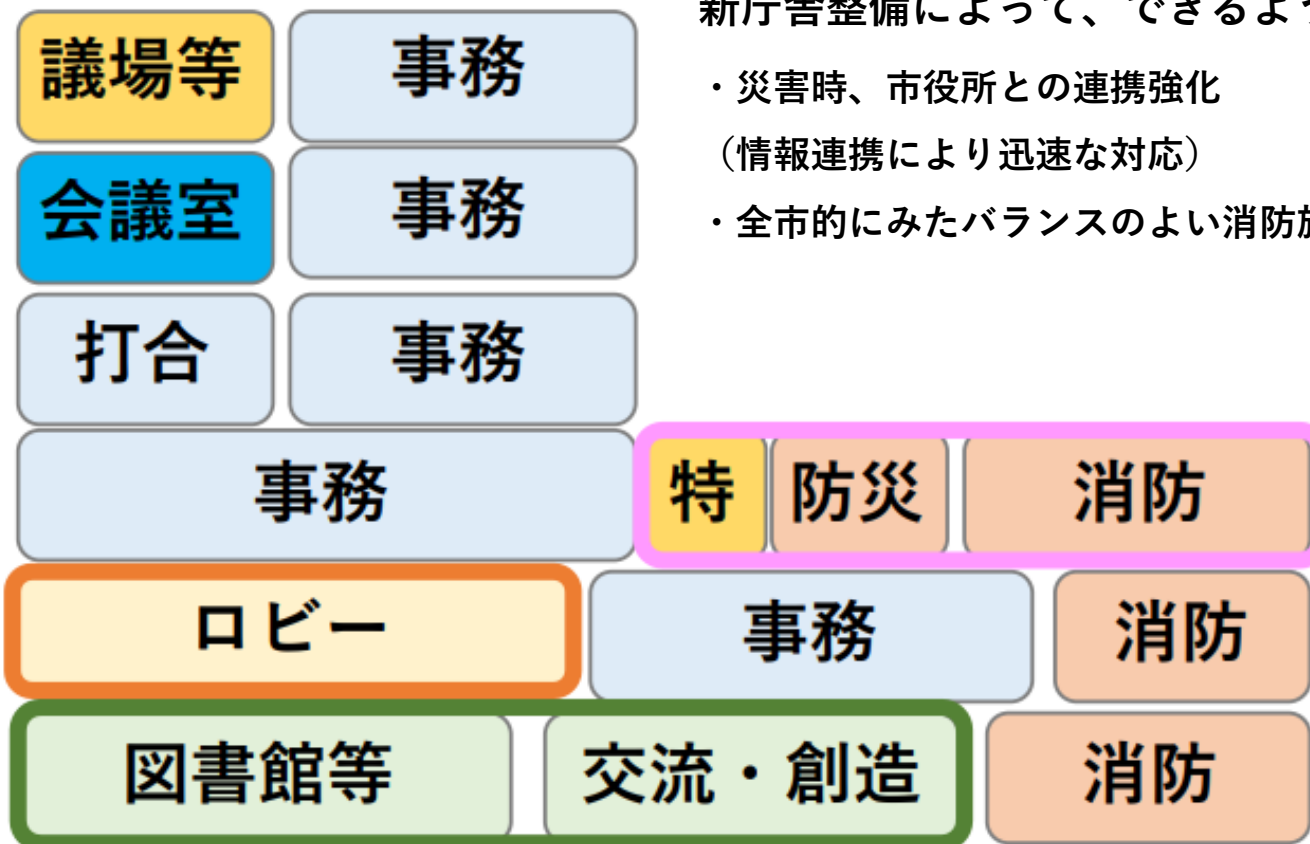
ひらいて むすんで

知恵うむ “ふみくら” (文庫)





## 新庁舎フロア構成のイメージ



新庁舎整備によって、できるようになること

- ・災害時、市役所との連携強化  
(情報連携により迅速な対応)
- ・全市的にみたバランスのよい消防施設の配置



公共施設のあさって



- ・災害時、市役所との連携強化（アナログでも連携）
- ・グラウンドや市役所と連携した受援体制の強化
- ・グラウンドや体育館を活用した災害訓練（子どもたちが参加する防災イベント）